

An abridged English translation

Japanese Utility Model Application No. 114219/1979 (Laid-open No. 30944/1981)

(11) Publication number: 30944/1981 (56-30944)

(43) Date of publication of application: March 25, 1981

(21) Application number: 54-114219

(22) Date of filing: August 20, 1979

(71) Applicant: Soji Ishikawa

(72) Creator : Soji Ishikawa

(54) A wing-shape needle 'Sculpabin' having a grip

[Claims]

1. A wing-shape needle having a grip, formed by connecting a connection terminal element, which is connectable to a syringe, with a needle element in fluid communication through a flexible tube, wherein a tubular grip is fitted on said flexible tube with a play, said tubular grip having a beak part at its front end, which is able to fit with the base part of said needle element, and an slit on the outer edge of its rear end which is to engage said flexible tube.

2. A wing-shape needle having a grip according to claim 1, wherein a part or the whole of said tubular grip is transparent or translucent.

Best Available Copy



実用新案登録願

昭和54年 8月 30日

特許庁長官 川原 能雄 殿

1. 考案の名称

グリップ付きスカルプペイン

2. 考案者

住所

実用新案登録出願人に同じ

氏名

3. 実用新案登録出願人

カワサキシ タカフ ク ミヤザキ

住所 神奈川県川崎市高津区宮崎6丁目6番22号

氏名(名称) イシ カワ ソウ シ
石 川 惣 二

4. 代理人

郵便番号 105

住所 東京都港区虎ノ門2丁目6番9号 第3三交ビル

氏名 (6760) 弁理士 高 木 八 次

TEL. (580) - 5541

5. 添附書類の目録

- ✓ 1) 明 細 書
- 2) 図 面
- ✓ 3) 委 任 状
- (4) 願 書 副 本
- (5) 出願審査請求書



- 1 通
- 1 通
- 1 通
- 1 通
- 1 通

✓ 54 114219

方式
方 審 査



30944

明 細 書

1. 考案の名称

グリップ付きスカルプペイン

2. 実用新案登録請求の範囲

(1) 注射器等に接続できる接続端子と針体とをフレキシブルチューブを介して連通したスカルプペインにおいて、先端に前記針体の基部に嵌装できる嘴部を有し、後端の周縁の一部に前記フレキシブルチューブの係止溝を有する管状グリップ体を前記フレキシブルチューブに遊嵌状に設けてなるグリップ付きスカルプペイン。

(2) 前記管状グリップ体の一部又は全部が透明又は半透明である実用新案登録請求の範囲第1項記載のグリップ付きスカルプペイン。

3. 考案の詳細な説明

この考案は注射器とか点滴セットの導液管の先端に接続して使用するスカルプペインの針体が患者の腕等の血管に刺込み易くなるようにし

たグリップ付きスカルプペインに関する。

一般にスカルプペインは第1図示の如く、注射器等に接続できる接続端子1と針体2とをフレキシブルチューブ3を介して連通してなり、前記針体2の基部には翼片2a, 2bが水平に設けられている。従って、針体2はこれを血管に刺込んだ後、翼片2a, 2bを腕等に密着させ、粘着テープ（図示せず）にて押えることにより患者が注射あるいは点滴中に腕等を動かしても支障なく注射あるいは点滴を続行できるとともに、長時間血管に留置しておける等の利点がある反面、前記針体2を血管に刺込む場合に刺込みにくいという欠点があった。というのは、前記針体2はその翼片2a, 2bを二点鎖線にて示すように背合せ状に把持して血管に刺込んでいたが、針体2の針端に充分に力が伝わらなかったばかりでなく、翼片2a, 2bの背合せ方によっては針端のとき面が傾き、血管に正確に突刺されないといったことがあったからである。

この考案は上記欠点を解消するためのもので、

腕等の血管に針体を刺込むときに針体に嵌装して使用でき、針体を血管に刺込んだ後は針体から外して邪魔にならない位置に控えさせておくことのできるグリップ付きスカルプペインを提供することを目的としている。

以下、この考案の実施例を第2図以下の図面にもとずいて説明する。

10は注射器の外筒先端あるいは点滴筒より垂下した導液管の先端に接続できる接続端子、11は針体、12は前記接続端子10と針体11を連通した柔軟な細管たるフレキシブルチューブである。前記針体11の基部に一体に固着した合成樹脂管13を介して針体11の針端のとき面14を上向きにしたときに水平になる翼片15、15'が突設されている。

16は前記フレキシブルチューブ12に遊嵌状に設けた管状グリップ体で、該管状グリップ体16の先端には前記針体11の基部に嵌装できる嘴部17が設けられるとともに、後端の周縁の一部には前記フレキシブルチューブ12の係止部18が設け

られている。前記嘴部 17 は針体 11 の基部に一体に固着した合成樹脂管 13 と、その翼片 15, 15' を喰え込むことができるようになっている。また、前記係止溝 18 は第 2 図示の如き V 溝を形成することにより満足できる。

前記管状グリップ体 16 はその一部又は全部が透明または半透明となし、前記針体 11 を血管に正確に刺込んだときに生ずる血液の逆流現象を確認できるようにしておくことが望ましい。

また、管状グリップ体 16 はこれを前記フレキシブルチューブ 12 に遊嵌状に設けるには、通常針体 11 または接続端子 10 に結着する前に嵌合するが、場合によっては管状グリップ体 16 の周面の適所に縦割状のスリットを形成しておき、該スリットを拡開してフレキシブルチューブ 12 に後から嵌合するようにしてもよいことは勿論である。

さらに管状グリップ体 16 は通常円筒形状になっているが、握り易さ等を考慮して角筒状あるいは楕円状にしてもよいし、適所に指が滑らな

いようなエンボス加工を施したり、鋸状の突起を設けたりすることもある。

この考案は以上の如く構成したから、使用に当ってはまず、接続端子 10 を点滴筒より垂下した導液管の先端に接続し、導液管の途中に設けたクレンメを操作して薬液を針体 11 まで導いた時点でクレンメを閉じ、次いで第 3 図 A の如くフレキシブルチューブ 12 に遊嵌状に設けた管状グリップ体 16 を針体 11 側に移動させ、その先端の嘴部 17 を針体 11 の基部に嵌装するとともに、同図 B の如くフレキシブルチューブ 12 の途中を管状グリップ体 16 の後端の周縁の一部に設けた係止溝 18 に係止する。かくした後、管状グリップ体 16 を持って針体 11 を血管に刺込む。針体 11 が血管に正確に刺込まれた後は管状グリップ体 16 の後端の周縁の一部に設けた係止溝 18 よりフレキシブルチューブ 12 を外すとともに、先端の嘴部 17 を針体 11 の基部より外し、第 4 図示の如く邪魔にならない位置に控えさせるとともに、針体 11 を粘着テープ 19 にて腕等 20 に固定する。

このように、この考案によれば、針体 11 は管状グリップ体 16 を持って血管に刺込むことができるので、その操作を楽に行えるところにも針端に充分に力が入り、刺込み易くなるばかりでなく、針端のとき面が傾くことを容易に修正することができる。

また、この考案は管状グリップ体 16 の後端の周縁の一部に係止溝 18 が設けられ、これにフレキシブルチューブ 12 を係止するので、管状グリップ体 16 は、この係止されたフレキシブルチューブ 12 によって針体 11 に締付けられ、ガタつくことがないばかりでなく、針体 11 を血管に刺込むときはもちろん、針体 11 を差替え（最適な位置を捜すために針体を刺したり抜いたりする場合がある）するときにも管状グリップ体 16 が針体 11 より抜け出すおそれがない。しかも、フレキシブルチューブ 12 は係止溝 18 にて外面を挟圧されるので、チューブ内に充滿している薬液が上記操作中に針端より押出されることがないという効果をも併有する。

さらに、この考案において、前記管状グリップ体 16 の一部又は全部を透明又は半透明にしておけば、針体 11 が血管に正確に刺込まれたことを示す血液の逆流現象を容易に確認することができるものである。

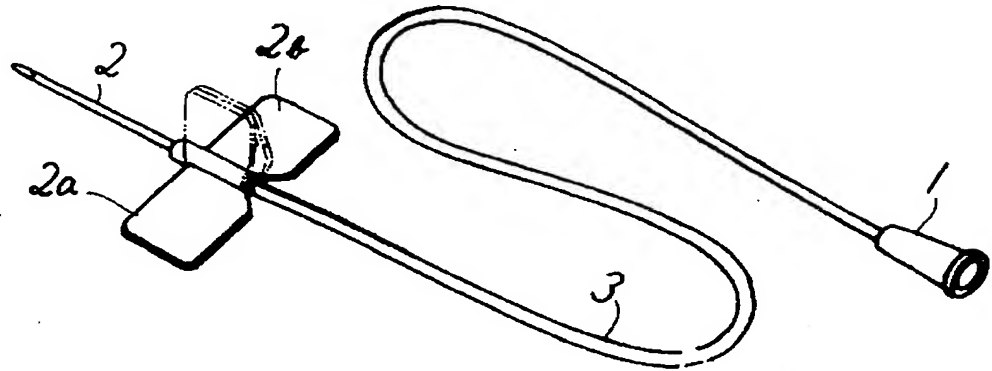
4. 図面の簡単な説明

第 1 図はスカルプペインの斜視図、第 2 ～ 第 4 図はこの考案の実施例を示し、第 2 図はその斜視図、第 3 図 A, B は管状グリップ体の作用状態を示す斜視図、第 4 図は管状グリップ体の不作用時の斜視図である。

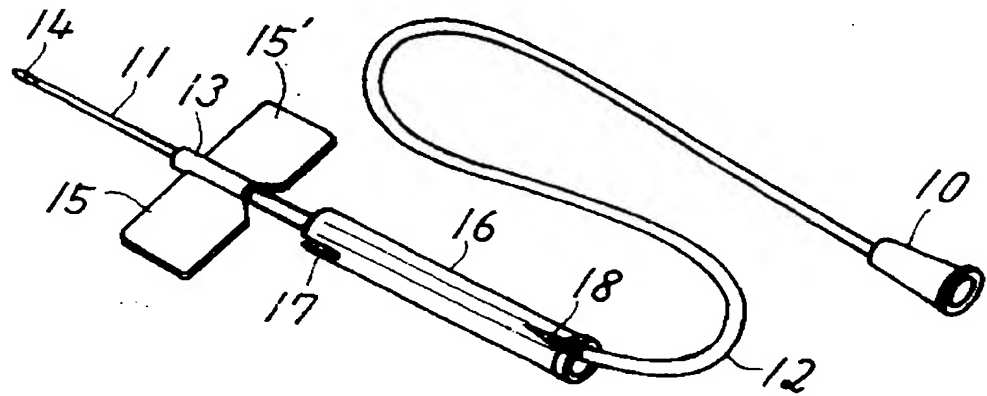
10 … 接続端子、11 … 針体、12 … フレキシブルチューブ、16 … 管状グリップ体、17 … 噴部、18 … 係止溝。

実用新案登録出願人 石 川 惣 二
代 理 人 高 木 八 次

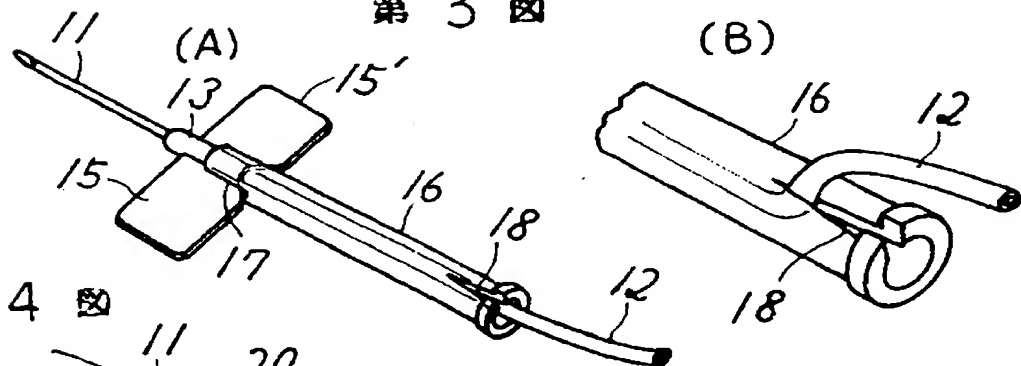
第 1 図



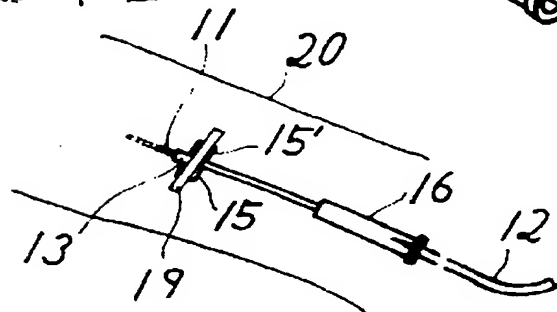
第 2 図



第 3 図



第 4 図



実用新案登録出願人 石川 繁二
代理人 高木 八次

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.